

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 332 号	氏名	あきやま もとひさ 秋山 祖久
学位審査委員		主 査	永山 雄二
		副 査	由井 克之
		副 査	森内 浩幸
論文審査の結果の要旨			
<p>論文名 : Relationship between regulatory T cells and the combination of pegylated interferon and ribavirin for the treatment of chronic hepatitis type C. Intervirology. 53: 154-160, 2010.</p>			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、慢性 C 型肝炎患者において、リバビリンとペグインターフェロンの併用療法効果と末血中及び肝組織中の制御性 T 細胞 (regulatory T cells, Treg) 数の相関を検討し、病態解析及び治療効果予測に役立てようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>研究デザイン、症例選択、末血及び肝組織内リンパ球の染色法など、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、肝組織では治療無効例で治療前において Treg が増加すること、末血では治療有効例で治療中に一過性に Treg が増加することを明らかにし、今後の肝炎ウイルスにおける免疫学的研究への進展がおおいに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は肝炎ウイルス研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			